

4-WAY SPLITTER Built-in CS V/H SELECTOR

伝送周波数帯域
70~1335MHz, 1572~2150MHz

VH4SP

低電圧(DC11V/15V)方式

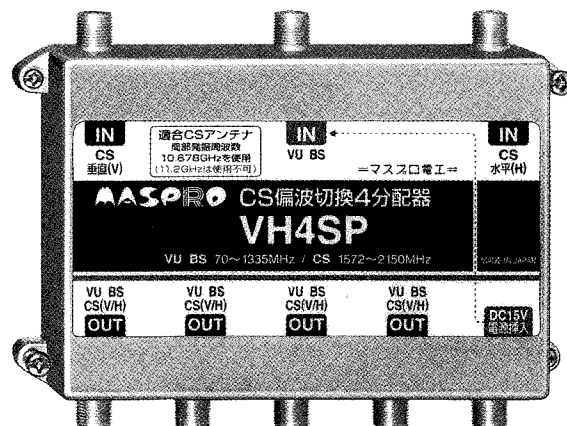
ビル・家庭内の共同受信で、各テレビ端子に接続したCSデジタルチューナーで、水平・垂直偏波の放送をそれぞれ独立して受信できる、CS偏波切換機能付きの4分配器です。

CSアンテナは、2出力型のBS混合対応品（局発振周波数 10.678GHz）を、使用してください。

DIGITAL

デジタル放送対応

このマークは、各種のデジタル放送を、より高画質で見るために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。



偏波自動切換機能

各出力端子に接続した、CSデジタルチューナーからの偏波切換電圧（DC11V/15V）に連動して、CSコンバーターの信号（垂直/水平）を切換えて出力しますから、出力端子に接続した、すべてのCSデジタルチューナーで、CS放送が楽しめます。

VU・BSミキサー内蔵

VU・BSミキサーを内蔵していますから、各出力端子からTV端子まで、1本のケーブルでVU・BS・CS伝送できます。

CSブースター内蔵

CSブースターを内蔵していますから、CS帯域の分配損失は6dB以下と少なく、システム設計が容易です。

CSコンバーター用電流通過回路

各出力端子とCS水平（H）入力端子および垂直（V）入力端子間が電流通過になっていますから、CS放送を受信している、どのCSデジタルチューナーからでも、CSコンバーターへ給電できます。

電源挿入機能（VU・BS）

DC15V電源挿入端子がありますから、ブースター電源部から、VU・BS入力端子に接続するブースターとBSコンバーターに電源を供給できます。

小型軽量

縦108mm、横139mm、厚さ30mmの小型ハウジングですから、設置場所を選びません。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

親切・技術の

MASPRO

＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能

CS垂直(V)入力端子

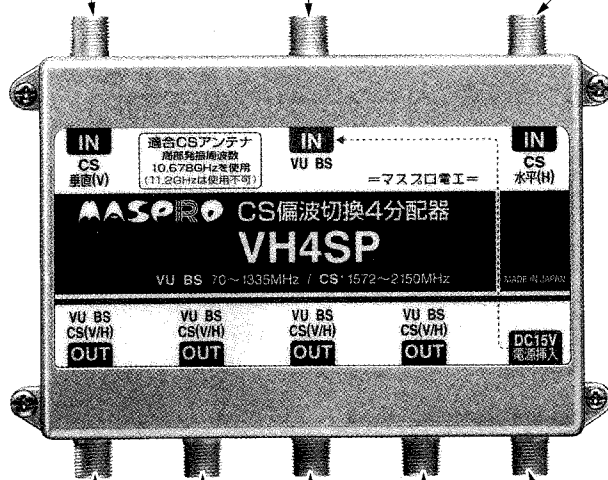
(F型コネクター)
垂直偏波受信のCSコンバーターと接続します。

VU BS入力端子

(F型コネクター)

CS水平(H)入力端子

(F型コネクター)
水平偏波受信のCSコンバーターと接続します。



CSコンバーター電源について

CSデジタルチューナーからのCSコンバーター電源が、11VのときはCS垂直(V)入力端子へ、15VのときはCS水平(H)入力端子へ、電流通過します。

VU BS CS(V/H) 出力端子

(F型コネクター)

CSデジタルチューナーからのCSコンバーター電源が、11Vのときは垂直(V)偏波の信号を、15Vのときは水平(H)偏波の信号を切換えて出力します。

DC15V 電源挿入端子

(F型コネクター)

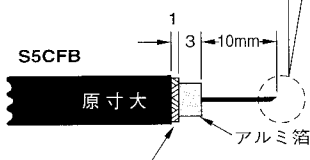
VU BS入力端子に接続するブースター、および、BSコンバーターに、DC15Vの電源を供給することができます。

F型コネクター (FP5) の取付方法

●接触不良や、ショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。

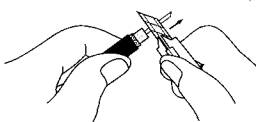
① ケーブルの加工

芯線の先を斜めに切断してください。



あみ線(銅編組)をニッパー(またはハサミ)で、1mm残して切ってください。

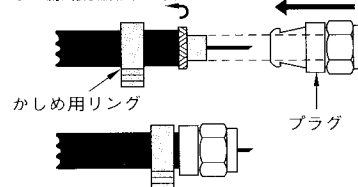
② 芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために、必ず取除いてください。



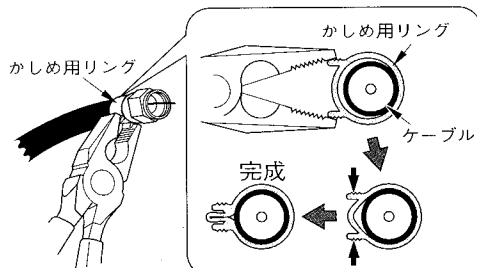
③ プラグの取付

1. かしめ用リングを、ケーブルに通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

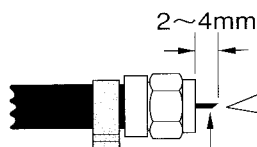
あみ線(銅編組)を折返す



④ かしめ用リングをペンチで圧着
プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



完成図

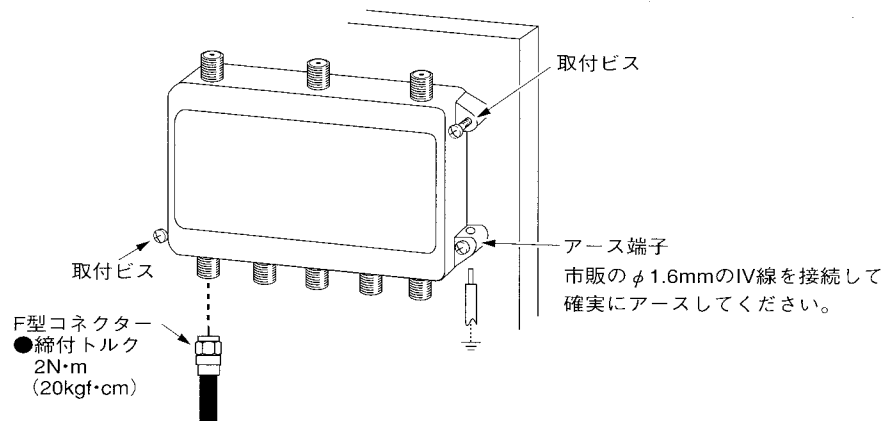


芯線は、まっすぐにしてください。曲がっているとショート状態になります。

芯線の長さは、必ず2~4mmにしてください。

F型コネクターのプラグから出る芯線が4mmを超えると、機器側のF型コネクターの端子部が破損して、故障の原因となることがあります。

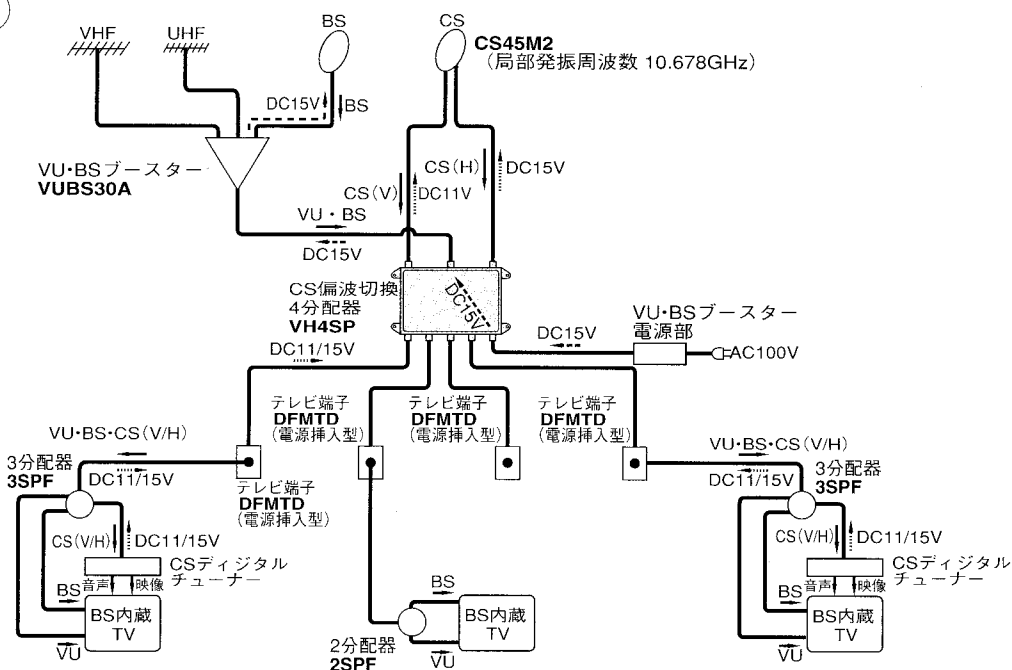
取付方法



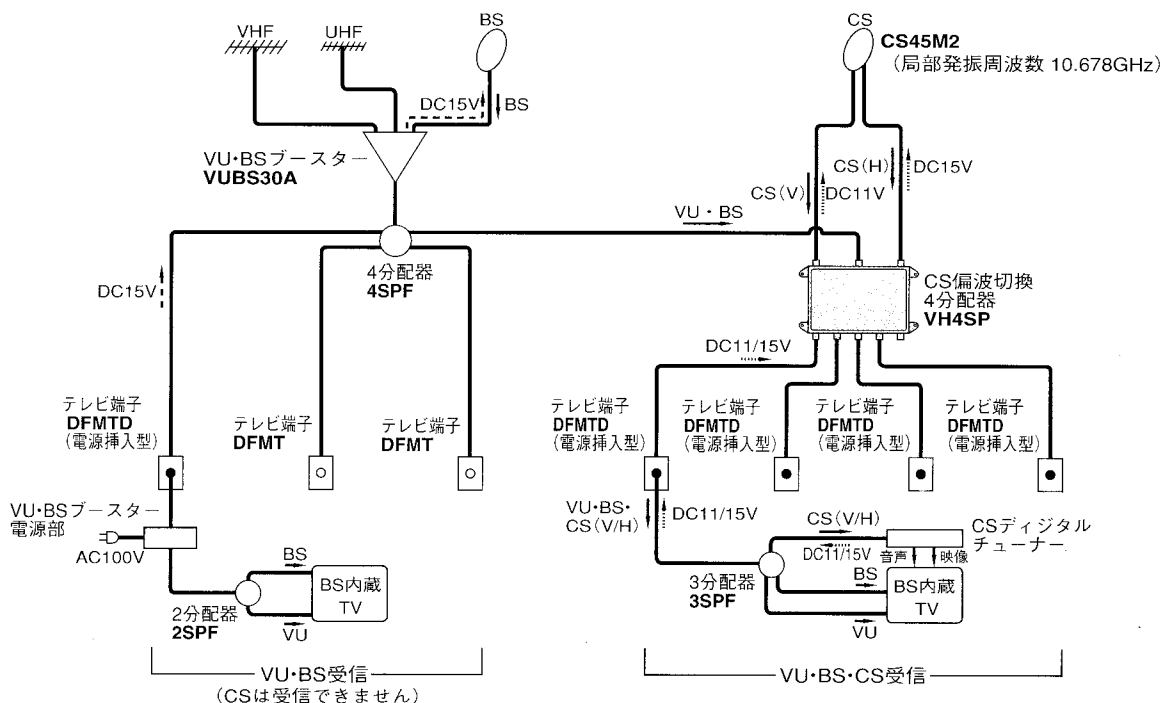
使用例

- CSアンテナは、2出力型のBS混合対応品(局部発振周波数 10.678GHz)を必ず使用してください。
●分配器、テレビ端子、75Ωケーブルなどは、2150MHzで性能が保証されたものを使用してください。

4 端子の場合



7 端子の場合



正しく使用していただくために

予定の出力レベル、あるいは、よい画質が得られないときは、次のチェックをしてください。

- ① 画質が悪い ————— 入力レベルは適正ですか。(CSの最大入力レベル 90dBμ)
- ② 出力端子に信号が出ない ————— CSコンバーターは、BS混合対応ですか。
- 局部発振周波数 (10.678GHz) の確認
 - 入力信号が来ていますか。
 - ケーブルのチェック
 - コネクターとケーブルとの接続をチェック
 - 入力端子と接続ケーブルの伝送信号の帯域をチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合、お近くの当社支店・営業所か、本社技術相談にお問合わせください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	70~770MHz (VHF・UHF)	1032~1335MHz (BS)	1572~2150MHz (CS)
分配損失 Splitting Loss	15dB以下	18dB以下	6dB以下
最大入力レベル Maximum Input Level			90dBμ
定格出力レベル Operating Output Level			90dBμ
CS(V)・(H)アイソレーション Isolation of CS(V) / CS(H)			25dB
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance	75Ω (F型コネクター)		
V SWR	2以下	2.5以下	
CS偏波切換電圧 CS Polarity Control Voltage			水平(H)偏波: DC15V (DC14.8~16.5V) 垂直(V)偏波: DC11V (DC10.8~12V)
電流通過容量 Power Passing Capacity	0.27A [DC15V: 水平(H)偏波入力端子ー出力端子] 0.27A [DC11V: 垂直(V)偏波入力端子ー出力端子] 1A [DC15V: VU・BS入力端子ーDC15V電源挿入端子]		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40℃		
電源 Power Requirements	DC15V (消費電流0.06A) [水平(H)偏波受信時] DC11V (消費電流0.04A) [垂直(V)偏波受信時]		
外観寸法 Dimensions	108 (H) × 139 (W) × 30 (D) mm		
質量 (重量) Weight	約530g		

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

F型コネクター (FP5) ……………8個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。



本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部 (052)802-2225
技術相談 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖繩 (098) 854-2768 熊本 (096) 381-7626
鹿児島 (099) 226-9200 長崎 (095) 846-6872
宮崎 (0985) 25-3877 福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026

下関 (0832) 55-1130	津 (059) 234-0261	横浜 (045) 784-1422	郡山 (024) 952-0095
徳山 (0834) 32-2954	岐阜 (058) 275-0805	渋谷(支) (03) 3409-5505	仙台 (022) 786-5060
広島 (082) 230-2351	名古屋(支) (052) 802-2233	工事営業部 (03) 3499-5631	盛岡 (019) 641-1681
松江 (0852) 21-5341	工事営業部 (052) 804-6262	秋葉原 (03) 3255-7335	秋田 (018) 862-7523
岡山 (086) 252-5800	豊橋 (0532) 33-1500	青戸 (03) 3695-1811	青森 (017) 742-4227
松山 (089) 973-5656	静岡 (054) 283-2220	八王子 (0426) 37-1699	
高知 (088) 882-0991	松本 (0263) 57-4625	千葉 (043) 232-5335	函館 (0138) 53-7355
高松 (087) 865-3666		大宮 (048) 663-8000	札幌 (011) 782-0711
姫路 (0792) 34-6669		前橋 (027) 263-3767	釧路 (0154) 23-8466
神戸 (078) 843-3200	福井 (0776) 23-8153	水戸 (029) 248-3870	旭川 (0166) 25-3111
大阪(支) (06) 6635-2222	金沢 (076) 249-5301	宇都宮 (028) 660-5008	北見 (0157) 61-0480
工事営業部 (06) 6632-1144	新潟 (025) 287-3155		
京都 (075) 341-0595			
和歌山 (073) 473-8867			

Master of Production
生産の顔

2K55-038

B-07-4038-2L